

発行日 平成29年5月1日
 http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2184
 発行 (地独) 青森県産業技術センター水産総合研究所
 TEL:017-755-2155 FAX:017-755-2156
 住所 〒039-3381 青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10



5月のウオダス発行予定

日	月	火	水	木	金	土
	①	2	3	4	5	6
7	8	9	10	⑪	12	13
14	15	⑬	17	18	19	20
21	⑳	23	24	25	㉒	27
28	29	30	31			

○ 漁海況 □ 漁況

○来遊量は、不漁であった前年並みで近年平均を下回る
 (平成29年度第1回日本海スルメイカ長期漁況予報)

小 泊 (4月26~30日)

ヤリイカ	定置網	9隻	1,009.5kg
(5,951.3kg)	棒受網	50隻	4,941.8kg
ウスメバル	釣り	23隻	355.6kg

下 前 (4月21~30日)

とりまとめ中

鱒ヶ沢 (4月11~30日)

とりまとめ中

大 戸 瀬 (新深浦) (4月11~30日)

とりまとめ中

大 畑 (4月26~30日)

ヤリイカ	定置網	14隻	1,435.0kg
(1,484.8kg)	底建網	7隻	49.8kg
マダイ	定置網	1隻	0.4kg
(1.0kg)	底建網	1隻	0.6kg
ブ	定置網	12隻	284.8kg
(287.8kg)	底建網	1隻	3.0kg
ウスメバル	底建網	4隻	1.9kg
(370.7kg)	刺網	5隻	324.6kg
	籠	4隻	44.2kg
サクラマス	定置網	12隻	240.7kg

平 館 (外ヶ浜) (3月21日~4月30日)

とりまとめ中

深 浦 (4月21~25日)

ヤリイカ	底建網	2隻	12.1kg
(125.9kg)	底曳網	4隻	113.8kg
マダイ	定置網	1隻	2.5kg
(80.1kg)	底建網	3隻	3.5kg
	底曳網	2隻	6.5kg
	刺網	8隻	67.6kg

ブ (4月21~25日)

リ	釣り	2隻	19.6kg
(254.1kg)	定置網	1隻	165.8kg
	底建網	7隻	45.4kg
	刺網	3隻	23.3kg

ウスメバル (4月21~25日)

釣り	13隻	747.2kg	
(1,241.9kg)	底曳網	4隻	99.1kg
	刺網	3隻	395.6kg

マダラ (4月21~25日)

定置網	1隻	19.0kg	
(105.7kg)	底建網	3隻	14.3kg
	底曳網	3隻	72.4kg

マイワシ (4月21~25日)

定置網	1隻	242.0kg
-----	----	---------

サクラマス (4月21~25日)

底建網	2隻	22.6kg
-----	----	--------

とりまとめ中 (4月26~30日)

三 厩 (4月21~30日)

とりまとめ中

佐 井 (4月16~30日)

とりまとめ中

尻 労 (4月26~30日)

ヤリイカ	定置網	5隻	1,341.0kg
(1,575.0kg)	底建網	10隻	234.0kg
ウスメバル	底建網	18隻	2,475.0kg
サクラマス	定置網	7隻	600.0kg

白 糠 (4月26~30日)

マダラ	釣り	1隻	21.7kg
サクラマス	釣り	17隻	24.0kg

三 沢 (未掲載分) (3月26~31日)

ウスメバル	釣り	1隻	40.0kg
マダラ	刺網	1隻	1.2kg

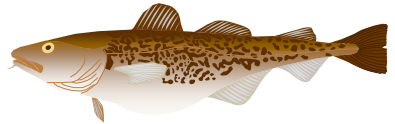
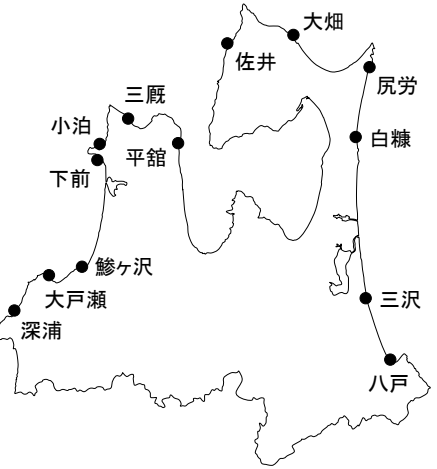
ウスメバル (4月21~25日)

釣り	1隻	15.0kg	
(15.8kg)	刺網	1隻	0.8kg
マダラ	刺網	1隻	2.5kg

とりまとめ中 (4月26~30日)

八 戸 (4月26~30日)

スルメイカ	底曳網	17隻	679.0kg
マダラ	底建網	18隻	1,358.0kg



○平成29年度 第1回 瀬戸内海 東部カタケチイワシ漁況予報
 瀬戸内海区水産研究所は4月28日、水産関係機関の情報をとりまとめ、以下のような予報を発表しました。
シラス(本年春季発生群)
 紀伊水道東部のシラスは不漁であった2016年並みで平年を下回る。
 紀伊水道西部では好漁であった2016年並みで平年を上回る。
 大阪湾・播磨灘東部・播磨灘南西部・播磨灘北西部では好漁であった2016年、平年を下回る。



沿岸各地の水温 (4月26日～30日)

日本海 11℃～12℃台 津軽海峡 9℃～10℃台
陸奥湾 9℃～10℃台 太平洋 8℃～10℃台

今回は平均前回差が+0.7度となりました。

前年と比べると、日本海が-0.0度、津軽海峡が-1.1度、陸奥湾が-0.4度、太平洋が-0.6度となり、平均前年差は-0.6度となりました。平年と比べると各海域ともに「やや高め」となっています。

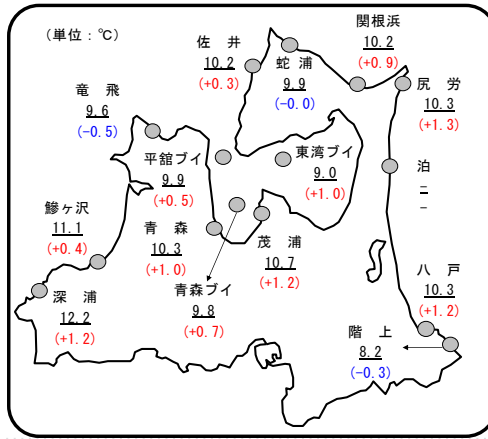


図 定地水温(4月26日～30日)
平均値(平年差)ブイは1m

表 沿岸各地の水温 (4月26～30日) (単位:℃)

	水温	前回差	前年差	平年差	
日本海	深浦	12.2	+0.6	+0.0	+1.2
	鯨ヶ沢	11.1	+1.2	-0.0	+0.4
	平均	11.7	+0.9	-0.0	+0.8
	竜飛	9.6	+0.2	-1.4	-0.5
津軽海峡	佐井	10.2	+0.5	-0.4	+0.3
	蛇浦	9.9	+1.1	-1.7	-0.0
	関根浜	10.2	+0.4	-0.8	+0.9
	平均	10.0	+0.5	-1.1	+0.2
陸奥湾	青森	10.3	+0.3	-0.7	+1.0
	茂浦	10.7	+1.2	+0.3	+1.2
	平館バイ	9.9	+0.2	-0.5	+0.5
	青森バイ	9.8	+0.6	-0.6	+0.7
	東湾バイ	9.0	+0.6	-0.7	+1.0
	平均	9.9	+0.6	-0.4	+0.9
太平洋	尻労	10.3	+0.6	+0.3	+1.3
	泊	-	-	-	-
	八戸	10.3	+2.2	-0.2	+1.2
	階上	8.2	+0.5	-1.9	-0.3
平均	9.6	+1.1	-0.6	+0.7	
全体平均	10.1	+0.7	-0.6	+0.6	

太平洋の海況 (4月26日～27日、表面水温分布)

概況：沿岸水温は9～10℃台

○太平洋沿岸域の表面水温

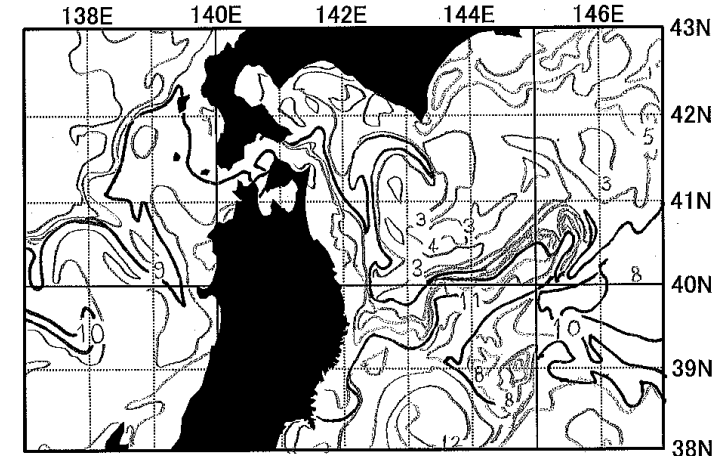
前回と比べて2～3度昇温しています。これは前年同期と同程度の水温です。

日本海の場合 (4月26日～27日、表面水温分布)

概況：沿岸水温は9～10℃台

○日本海沿岸域の表面水温

前回と比べて変わっていません。これは前年同期と比べ1度ほど低い水温です。



資料：(一社)漁業情報サービスセンター
北部太平洋海況速報 第8号 4月28日発行

○平成29年度第1回東北海区海況予報

北海道区水産研究所は4月27日、水産関係機関の情報をとりまとめ、以下のような予報を発表しました。
今後の見通し(平成29年4月下旬～平成29年5月)のポイント

- ・近海の黒潮続流の北限位置はやや北偏で推移する。
- ・親潮第1分枝の張り出しは極めて南偏で推移する。
- ・金華山沖の暖水塊は停滞する。

○平成29年度第1回日本海スルメイカ長期漁海況予報

日本海区水産研究所は4月28日、水産関係機関の情報をとりまとめ、以下のような予報を発表しました。

今後の見通し(平成2017年5月～7月)

対象魚種：スルメイカ 対象海域：日本海沿岸域
対象漁業：主にいか釣り漁業
対象魚群：主に秋季発生系群

- ・来遊量は、不漁であった前年並みで近年平均を下回る。
- ・漁期の開始時期は、前年および近年平均並み。

【予測】 今期(2017年5月～7月)の日本海沿岸域へのスルメイカ来遊量は、不漁であった前年並で近年平均を下回ると予測される。北陸を中心とした漁期の開始は、前年および近年平均並と予測される。

【情報】

- (1) 2017年4月に実施したスルメイカ新規加入量調査の結果、今期、漁獲対象になると予測される外套背長5cm以上のスルメイカの1調査点あたり採集尾数は8.6尾で、前年(5.8尾)を上回ったが、近年平均(21.2尾)を下回った。
- (2) 2016年10月～11月に実施したスルメイカの幼生分布調査では、幼生の分布密度が2015年および過去5年(2011年～2015年)平均を下回った。
- (3) 2016年5月～7月の小型いか釣り等によるスルメイカ(生鮮)の漁獲量は、不漁であった2015年並であった。
- (4) 漁期の開始時期に影響を与える4月中旬～6月の対馬暖流域の表面水温と50m深水温は、共に平年よりも「やや高め」と予測されている。なお、近年の4月～6月の水温も、概ねやや高めで推移している。

